

5 自主事業の概要

計 画	実施状況
・ 小型船舶の販売、修理等 ・ 燃料の販売 ・ ボート免許教室（年9回） ・ レンタルボート（年8回） ・ クルージング事業（年18回） ・ 飲食業、バーベキュー、牡蠣販売 ・ ボートトレーラー車検代行業務（10台程度） ・ キャンピングカー受入業務（H29から募集予定のため準備）	修理は自主事業の実績報告書のとおり、小型船舶の販売は無し 燃料の販売は、646千円の純利益があった。 免許教室及び更新等の講習含む年13回 レンタルボートは、年18回 無し 自主事業の実績報告書のとおり 無し キャンピングトレーラー受入

6 指定管理者が提案した取組等の実施状況

提案内容	実施状況
【施設管理運営】 方針1 安全第一 方針2 平等利用を遵守した管理運営 方針3 地元貢献に資する管理運営 方針4 維持管理費の縮減 ※具体的な契約隻数目標について ①海上係留27隻（H28年度26隻→1隻増） ②陸上艇置場（Aヤード）47隻（H28年度46隻→1隻増） ③陸上艇置場（Bヤード）64隻（H28年度63隻→1隻増） ④船揚場99隻（H28年度97隻→2隻増） 【施設効用等】 ・ 研修室をオーナーズルームとして開放。 ・ 修理施設の有効活用（修理棟で冬季限定の飲食販売コーナー開設）。 ・ マリーナ緑地の利用促進・有効活用（休憩施設の充実及び飲食販売の検討）。 ・ 海浜区域の有効活用（トレーラーハウスの設置に向けた取組み）。 ・ イベントの実施（勇払マリーナ祭りの開催、釣り大会、無料体験乗船会）。 ・ ボートトレーラーの修理及び車検代行業務。 ・ 自主事業による収益の使途（マリーナ運用経費、職員の給与アップ、職員雇用、地域イベントの協賛等）。 ・ 提案BBQ（牡蠣焼き小屋）の自主事業の取組み。 【安定的管理に必要な人員等】 ・ 警備体制（夜間及び休業日の当直はベルポート北海道の警備の正社員で対応）。 ・ 職員育成及び研修（一級小型船舶操縦士、危険物取扱者、フォークリフト運転、玉掛け技能講習等の積極的取得支援）。マリーナ安全管理者養成講習への参加。 ・ 若手スタッフに自主事業を担当させ、長期的かつ安定的な雇用推進及び人材育成。 【管理経費の縮減】 ・ 部品在庫を用意し、軽微なうちに修繕。 ・ 電力自由化に伴う契約の見直し。 ・ 電源スイッチの適切な切り替えによる電力使用量削減。 ・ 自主事業との兼任による人件費の削減。	・ 従業員は、12名全て正社員である。年度途中にハーバーマスターの交代が有りましたが、速やかに補充されている。 ・ 自治会に協力して勇払納涼祭や市等などと協力してトライアスロン大会実施の取組みをしている。 ・ 利用者の拡大については、H27年度の契約艇数234隻からH28年度契約艇数204隻で30隻の減となり、当初の事業計画の見込みが甘い。 ・ 研修室の使用予定ない時は、オーナーズルームとして解放 ・ 修理施設の他目的使用ではありますが、冬季限定で牡蠣の販売として有効活用実施 ・ マリーナ緑地の利用促進・有効活用また休憩施設の充実及び飲食販売は検討段階 ・ キャンピングトレーラーの貸し出しを実施 ・ 釣り大会、トライアスロン大会、勇払マリーナ牡蠣フェス等の実施 ・ 自主事業で、修理は行っているが車検代行業務は依頼が0です。 ・ 自主事業による収益の使途としてマリーナ経費、地域イベントの協賛、地域イベント職員の雇用へ運用している ・ 法的手続きの関係から牡蠣小屋としてではなく、販売所として実施 ・ 警備体制として当直は、ベルポート北海道の正職員3名で対応 ・ マリーナ職員として必要な研修として、一級小型船舶操縦士、危険物取扱者、フォークリフト運転、玉掛け技能講習等やマリーナ安全管理者養成講習へ参加している。 ・ 長期的かつ安定的な雇用推進及び人材育成に努めておりますが、更なる若手スタッフの雇用が困難である。 ・ 日常点検等に合わせて、ダメージが深刻にならない軽微状態な時に補修をしている ・ 新電力の切り替えによる電力使用料金の削減や管理棟、修理棟の適切なスイッチ切り替えによる電力使用の削減を行っている。 ・ 経費節減ため効率的な運用に努めている。